

根から 暮らしの声、声

最近、市民から日本共産党にうれしい激励の声が寄せられています。そのうち二つを紹介します。

高齢者から

「あなた、どこの人け。ええ、正得?...。なに、共産党け。あー、そんならわかった！ 話、聞かちや！」
小泉、年寄りに早く死ねというがかね、ほんまに腹立つ。年金は下がるし、医療費は上がるばかりでえ。

共産党にがんばってほしい。
父ちゃんは病院に通ってついですごい高つく。私は毎朝歩いて、ちよっこでも元気でおれるように、がんばつとるがいぜ。」

(Tさん・談)

子育て世代から

「ええ、学童、たいへん助かってます。今2年生ですが、3年生までしか預かってもらえないと聞いており、この先、心配です。物騒な事件が続いている

ときですからね。
私の実家でも、共産党の議員さんは評判いいよ。すぐ動いてくれるから。」

(Dさん・談)

学童保育、助かっています

小泉、年寄りに早く死ねというのか

税金の使い方を変えて、教育・福祉の充実を

そうではないのです。

アメリカのために税金を使うのは惜しくない
小泉自民党・公明党内閣

米軍の再編成に3兆円もの税金をつぎ込もうというのですから、小泉内閣は国民の幸せのために税金を使いたくないだけなのです。

国民の幸せのために税金を
日本共産党

日本共産党は、憲法25条「国民の生存権の保障」を実現するためにこそ、税金を使えと主張しています。

無駄遣いをチエック
日本共産党

小矢部市でも、税金の使い方を見直すことで、福祉・教育の充実ができました。

市債残高を減らし、
利払いを節約

小矢部市はクロスランド

タワーに18億円もつぎ込むなど、無駄な大型公共事業で1998年度には市債残高が150億円を超え、利払いだけで6億3千万円以上も使っていました。

8年前の選挙で日本共産党が訴えたように、市債残高を減らす財政運営、無駄な公共事業はしない。新たな借金はその年の元金返済の範囲内にとどめるによって2005年度末市債残高は124億円にまで減少し、2006年度予算では利払いが2億7千万円へと3億6千万円近く少なくなりました。高金利の市債を繰り上げ償還したことも金利負担を軽減できた要素です。

食糧費も10分の1に

税金で飲み食いしていた食糧費は1994年度の2923万円から2005年度には約270万円へと、2600万円以上節約できました。

市長交際費も減額

市民オンブズ小矢部の運動と相まって、市長交際費も450万円から300万円に、議長交際費も200

万円から150万円に削減し、2000万円の節約になりました。



これらが子育て支援策に生かされた

これらが子育て支援などの予算に生かされているのです。

1998年の市議選で日本共産党が訴えた「第3子保育料の無料化」(2006年度予算では1940万円)に生かされています。

また、4年前の市議選で日本共産党が訴えた「少人数学級への前進」につながっています。富山県は小学1年、2年生に35人以下学級を実施しましたが、小矢部市はそれに加えて、小学1年生の30人を超える学級にも一人補助の先生を配置しています(2006年度予算では140万円)。

学童保育も充実できました。5小学校で実施し、夏休み、冬休み、春休みも預かることができるように前進しました(2006年度予算では2821万円)。

年末年始特別保育料
県下に恥をさらす

ところが昨年末、子育てに力を入れていた小矢部市にとつて恥ずかしいことが発生しました。年末年始に保育所で預かると1日2000円の特別保育料を徴収することになり、北日本新聞で「有料化に疑問の声」(05年12月8日付)と大きく問題にされました。これで増えた保育料収入は10万円あまりです。この程度なら、いくらでも工面できたのではないのでしょうか。

議員海外視察の中止こそ

日本共産党は、年間100万円も使っている議員の海外視察を中止すれば、特別保育料を取らなくてもすむと訴えています。
また、市長退職金の1億円、綾子河川公園計画の7億5千万円を見直し、高齢者の生活支援、城山公園などの整備、町の活性化にまわせと訴えています。